公益社団法人　宮崎県柔道整復師会　第44回宮崎学会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　学術部長　山本　裕太郎

令和7年5月24日（土）14時15分より第44回宮崎学会が宮日ホール11Fにて開催されました。会員53名、準会員5名が参加され沢山の質問が飛び交う場となりました。

　まず山内会長よりご挨拶があり、論文発表、会員講演される先生の紹介、特別顧問の先生の紹介がありました。

　次に会員発表として、宮崎支部　中村拓未会員「バレーボールのスパイク動作における腹直筋の肉離れ～受傷から復帰まで～」、延岡支部　奈須崇倫会員「接骨院における介護予防体操教室の現状と将来への展望」の２題の発表がありました。お二人の先生、学術部員の先生方におかれましては、忙しい施術時間の合間に時間をかけて論文作成に取り組んで頂いたことにこの場をお借りして感謝申し上げます。

　そして生涯学習表彰として奈須崇倫会員、ボランティア表彰として奈須康哲会員が日頃の功績を表彰されました。

次に、会員講演で都城支部の陣内　博規会員から「整骨院の現状打破！のヒント～翌日から誰でも行える方法をこっそりと教えます～」についてご講演を頂きました。自分の日頃を見つめ直す良い機会となり、会員の先生方も熱心に聴かれていました。

休憩の合間には、日健医療器株式会社様、株式会社エス・エス・ビー様、株式会社NBC　international　Japan様、株式会社ビーアンドエスコーポレーション様の医療機器展示会が開催され、多くの先生方が体験をされていました。

　最後に医師会講演として、ふかおスポーツクリニック整形外科　院長　深尾　悠先生による「外傷/急性疾患における整形外科的治療指針」という演題で柔道整復師が日頃の臨床で経験する疾患に対して分かりやすく解説して頂きました。懇親会の場でも多くの会員が深尾先生のところに挨拶や質問に行き、深尾先生も親切に回答して下さいました。

　第44回宮崎学会では多くの学びの場となったと思いますが、参加者が少ないのが少し残念でした。業界を盛り上げるためにも学の構築は大切なことだと思います。第45回宮崎学会では多くの先生方のご参加をお待ちしております。





